

## 住み慣れた地域での生活を考えるワークショップの開催報告

- 1 日 時 令和5年8月26日(土) 10時から12時  
 2 場 所 江陽公民館 小ホール  
 3 出席者 13人(八戸学院大学 学生2人、地域関係者11人(民生委員、地区社協など))

### 4 開催概要

#### (1) 話題提供

「八戸市の高齢者の状況と見守り活動」

八戸市 福祉部 高齢福祉課 主査兼社会福祉士 山口 誠

「地域包括ケアシステムの解説」

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 講師 大木 えりか 氏

#### (2) グループワーク

「江陽地区における高齢者の見守り体制について考える」

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 助教 米田 政葉 氏

- アイスブレイク(自己紹介)
- 江陽地区での良いところ、課題を挙げる
- 良いところや課題の整理
- 自分たちで対応できる解決策を考える
- 全体共有～各グループから話し合った内容について発表。

#### (3) 検討した主な内容

項目	良いところ	課題
高齢者に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公民館自主クラブ、高齢者サロン、老人クラブがあり、生きいきと参加している人が多い。</li> <li>○公民館の自主クラブにボランティア団体があり、依頼しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者一人暮らしや高齢者のみの世帯が多い。</li> <li>○高齢化による津波避難対策が必要。</li> <li>○閉じこもりの男性高齢者が多い。</li> </ul>
暮らしに 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病院や介護保険サービス事業所が多い。</li> <li>○スーパーやショッピングセンターなど大きな商業施設がある。</li> <li>○バス停が多く、JR 駅もあり、高速バスがある。</li> <li>○中心街に近く便利。</li> <li>○公園が多く、緑が多い。</li> <li>○昔から住んでいる人が多い。</li> <li>○坂がなく平らで暮らしやすい地域である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若い人が町内会のイベントに参加しない。</li> <li>○子ども会がなくなり、子どもに関する行事が行われない。</li> </ul>

## 自分たちで対応できる解決策

○地域の高齢者を支援している民生委員の人数が少なく負担が多いため、ほのぼの交流協力員に高齢者訪問等に協力してもらっている。困ったことがあれば高齢者支援センターへ対応をお願いしている。

## 5 今後の取組

- 江陽地区の地域住民が、新たな取組にまでは結び付かなかったが、今回のワークショップを通じて地域の困りごとや課題や高齢者の見守り支援の流れについて整理し、話し合うことができた。
- 高齢者の見守り体制については、民生委員、ほのぼの交流協力員などが見守り活動を通じて、気になる高齢者を把握すると江陽地区を担当している高齢者支援センターアクティブ24へ連絡し、高齢者支援センターアクティブ24が高齢者宅を訪問している。その際に、高齢者からの困りごとを聞くことにより必要なサービスに繋げるなど高齢者の見守り支援の仕組みができています。また、高齢者支援センターアクティブ24が、病院から退院後の高齢者の生活不安に関する相談を受けることが多く、これまでと同様に必要なサービスに繋げていくことを引き続き継続する。
- 高齢者支援センターアクティブ24が、関係機関と連携を図り要介護状態や要支援状態のおそれのある高齢者の情報を収集して、年間約300件の高齢者宅を訪問している。必要なサービスや介護予防教室などの介護予防活動へ繋げていくことを引き続き継続する。